

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についての記載した。

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類 (対象作物 産種等名)	作物等区分 (対象作物 産種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)		
							計画時 (平成16年)	1年後 (平成17年)	2年後 (平成18年)	3年後 (平成19年)	目標値 (平成19年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				その他	
栗山町	栗山町農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	土地利用型作物(大豆)	品質向上	【土地利用型作物】(大豆産地安定供給(品質向上)に関する目標)上位等級比率が50%以上	42.0%	73.8%	95.9%	94.1%	70.0%	186.1%	上位等級比率が94.1%となった	大豆調整施設一式 調整能力12.2t/日	105,000,000	49,576,000			55,424,000	平成17年10月20日			
池田町	十勝池田町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(大豆、雑豆)	実需に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】(畑作物・地域特産物の戦略的地域の育成)事業対象農産物の生産量を5%以上増加	36,060俵	44,279俵	41,383俵	45,500俵	41,880俵	162.2%	事業実施地区において事業対象農産物の生産数量が、26.2%増加した	乾燥調整施設軟×線異物除去機(1.5t/hr)ﾌﾟﾗｺﾝｽﾀｰﾙ増設工事	74,920,650	35,676,000			39,244,650	平成17年10月27日			
上富良野町 中富良野町 富良野市 南富良野町	ふらの農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(赤豌豆)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】(畑作物・地域特産物の戦略的地域の育成)事業対象農産物の生産量を32.5%増加	255t	255t	347t	461t	338t	248.2%	赤豌豆の生産数量が60.8%増加した	耕種作物共同利用施設整備乾燥調整施設	40,740,000	19,400,000			21,340,000	平成18年3月30日			
小清水町	小清水町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(馬鈴しよ)	生産性向上	【畑作物】(物流コスト削減)馬鈴しよ澱粉製品の流通コスト(保管入庫)を15.3%削減	103,025円	90,584円	81,493円	89,469円	87,177円	85.5%	25kg当たり費用が13.2%削減された	馬鈴しよ澱粉製品保管倉庫1棟 3,176t/年 1,321.34㎡	126,210,000	60,100,000			66,110,000	平成18年3月22日	従来は、生産したてん粉の57.3%を商業倉庫で保管していたが、事業で保管倉庫を整備したことにより、保管入庫に係るコストを抑えることができたため、馬鈴しよ澱粉製品の流通コストの削減が図られ、18年度における流通コストは1,489円となり、目標を大きく上回ったが、19年度は、89,469円となり目標達成には至らなかった。しかし、この原因が19年度に減価償却資産制度の見直しが行われ(償却可能限度額が廃止され、備忘価格(1円)まで償却できることになったこと)、袋(製品25kg)あたり2,365円ほど掛かり増しになったことに起因するものであることを考えると、おおむね目標を達成できたと判断している。(製品25kg当たりの流通コストから、この掛かり増しとなった2,365円を差し引くと達成率は100.5%となる。)また、商業倉庫での保管割合も目標39.4%に対し、19年度には38.1%となり、計画通り商業倉庫での保管割合を減らすことができている。なお、整備した倉庫についても年産をまたがった収納にはなるものの計画通り利用している。		
幕別町	札内農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(馬鈴しよ)	実需に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】(畑作物・地域特産物の戦略的地域の育成)事業対象農産物の生産量を16.3%増加	6,599t	7,148t	6,330t	7,826t	7,679t	113.6%	事業実施地区において事業対象農産物の生産数量が、18.6%増加した	集出荷貯蔵施設(1,782t)	282,849,000	134,690,000			148,159,000	平成17年10月13日			
幕別町	幕別町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(加工馬鈴しよ)	需要に応じた生産量の確保	【畑作物・地域特産物】(畑作物・地域特産物の戦略的地域の育成)事業対象農産物の生産量を12.3%増加	14,299t	14,156t	14,423t	16,147t	16,059t	105.0%	事業実施地区において、事業対象農産物の生産数量が12.9%増加した	耕種作物共同利用施設整備集出荷貯蔵施設 冷蔵貯蔵施設増設(4室 2,670t)	58,800,000	28,000,000			30,800,000	平成18年3月17日			
音更町 士幌町 上士幌町 雁追町 新得町 清水町 芽室町	士幌町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(馬鈴しよ)	生産性向上	【各作物共通】(病害虫による農作物被害の防止)事業実施地区の対象病害虫の新規発生率が0.5%未満	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%未満	100.0%	事業実施地区において対象病害虫の新規発生はなかった	農作物被害防止施設 車両洗浄施設(30台/h)遊離土砂加温殺菌施設(7.2t/h)	97,650,000	46,500,000			51,150,000	平成17年8月10日			
幕別町 池田町 豊頃町 本別町 足寄町 陸別町 浦幌町	東十勝農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(馬鈴しよ)	生産性向上	【各作物共通】(病害虫による農作物被害の防止)事業実施地区の対象病害虫の新規発生率が0.5%未満	1.0%	0.5%未満	0.5%未満	0.0%	0.5%未満	100.0%	事業実施地区において対象病害虫の新規発生はなかった	農作物被害防止施設 車両洗浄施設(27台/h)	25,725,000	12,250,000			13,475,000	平成17年8月10日			
中札内村 更別村 大樹町 大樹町 広尾町 帯広市	南十勝農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畑作物・地域特産物(馬鈴しよ)	生産性向上	【各作物共通】(病害虫による農作物被害の防止)事業実施地区の対象病害虫の新規発生率が0.5%未満	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%未満	100.0%	事業実施地区において対象病害虫の新規発生はなかった	農作物被害防止施設 車両洗浄施設(27台/h) 遊離土砂加温殺菌施設(7.2t/h)	110,250,000	52,500,000			57,750,000	平成17年8月10日			

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物産種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
							計画時(平成16年)	1年後(平成17年)	2年後(平成18年)	3年後(平成19年)	目標値(平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
江差町 上ノ国町 厚沢部町 乙部町 奥尻町 八雲町	新函館農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(アスパラガス)	生産性向上	【野菜】(低コスト化)アスパラガス栽培の生産コストを6.2%削減	2,098,602円/10a	2,098,602円/10a	1,968,202円/10a	1,861,205円/10a	1,968,202円/10a	182.1%	アスパラガス栽培の生産コストが11.3%削減した。	Fスハラ選別施設選別機1台 自動計量機2台 自動結束機2台 梱包機1台 コンプレッサー1台	73,500,000	35,000,000			38,500,000	平成18年3月31日		
南幌町	南幌町蔬菜園芸組合キャベツ部会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(キャベツ)	生産性向上	【野菜】(低コスト化)10a当たり労働時間を33.3%削減	3hr/10a	-	2hr/10a	2hr/10a	2hr/10a	100.0%	10a当たりの労働時間が33.3%削減した。	乗用移植機5台	18,900,000	6,247,000			12,653,000	平成18年3月24日		
南幌町	南幌町農協	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(キャベツ)	品質向上	【野菜】(高付加価値化)全出荷量の43.8%を高品質化	0%	0%	59.2%	44.9%	43.8%	102.4%	全出荷量の44.9%を高品質化した。	建物 鉄筋造504㎡ 真空予冷庫設置一式	118,000,050	56,190,000			61,810,050	平成17年10月31日		
大樹町	大樹町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(大根)	品質向上	【野菜】(高付加価値化)大根出荷量の全量を高品質化(生食用製品出荷量のうち、真空予冷処理の割合が100%)	0%	2,780%	2,849%	100.0%	100.0%	100.0%	出荷大根を全量を高品質化した。	集出荷貯蔵施設 真空設備 (6.8t/hr) 冷却設備 計測、制御設備 工事費 運搬費	34,545,000	16,450,000			18,095,000	平成17年6月30日		
七飯町 上磯町 八雲町	JA新はだて花弁サード部会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	花き	生産性向上	【花き】(施設園芸の省エネルギー化)施設花き栽培における燃油の使用量を11.6%削減	15,000ℓ/10a	15,000ℓ/10a	14,447ℓ/10a	8,889ℓ/10a	13,260ℓ/10a	351.2%	燃油の使用量が40.7%削減された。	多段式サーモスタット70台	3,225,075	1,612,000			1,613,075	平成18年3月30日		
東神楽町	農事組合法人東神楽選菜園芸組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(ミニトマト)	生産性向上	【野菜】(施設園芸の省エネルギー化)事業実施地区の燃油の使用量を10%削減	43,600ℓ/10a	31,747ℓ/10a	19,046ℓ/10a	21,071ℓ/10a	39,240ℓ/10a	516.7%	燃油の使用量が51.7%削減された。	二重被覆施設 3,508㎡	16,362,759	7,791,000			8,571,759	平成18年3月31日		
東神楽町	有限会社ロッタームアクトリー	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜(ミニトマト)	生産性向上	【野菜】(施設園芸の省エネルギー化)事業実施地区の燃油の使用量を10%削減	43,600ℓ/10a	30,162ℓ/10a	18,400ℓ/10a	22,200ℓ/10a	39,240ℓ/10a	490.8%	燃油の使用量が49.1%削減された。	二重被覆施設 10,000㎡	46,645,408	22,212,000			24,433,408	平成18年3月31日		
帯広市	帯広市川西農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業)に取組む農業者の増加)販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を10.4%増加	2.9%	2.9%	6.6%	13.5%	13.30%	101.9%	環境保全型農業に取組む農業者が、10.6ポイント増加した。	石礫除去 32.53ha	15,251,250	7,262,000			7,989,250	平成17年11月30日		
音更町	音更町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業)に取組む農業者の増加)販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を10%増加	10.0%	8.6%	6.5%	26.3%	20.4%	156.7%	環境保全型農業に取組む農業者が、15.6ポイント増加した。	浅層排水 102.7ha	140,280,773	66,800,000			73,480,773	平成17年12月14日		
清水町	十勝清水町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業)に取組む農業者の増加)販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を1%増加	13.0%	13.0%	13.0%	24.0%	14.0%	1100.0%	環境保全型農業に取組む農業者が、11ポイント増加した。	石礫除去 15.42ha 浅層排水 0.8ha	7,875,000	3,750,000			4,125,000	平成17年11月11日		
芽室町	芽室町農業協同組合(芽室第1地区)	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業)に取組む農業者の増加)販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を40%増加	12.0%	65.0%	58.0%	61.0%	52.0%	122.5%	環境保全型農業に取組む農業者が、49ポイント増加した。	石礫除去 4.0ha 浅層排水 4.0ha	1,666,213	793,000			873,213	平成17年11月17日		
芽室町	芽室町農業協同組合(芽室第2地区)	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業)に取組む農業者の増加)販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を1%増加	11.0%	22.0%	28.0%	29.0%	22.0%	163.6%	環境保全型農業に取組む農業者が、18ポイント増加した。	浅層排水 0.4ha 石礫除去 19.7ha 碾査測定 20.1ha	8,907,096	4,241,000			4,666,096	平成17年11月17日		
芽室町	北上美生スラリー利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	環境保全	農畜産業の環境保全	【環境保全】(環境保全型農業)に取組む農業者の増加)販売農家のうち環境保全型農業に取り組む農業者を36%増加	9.0%	45.0%	45.0%	45.0%	45.0%	100.0%	環境保全型農業に取組む農業者が、36ポイント増加した。	スラリー散布機 20tタンク 12巾ホース	11,500,000	5,701,000			5,799,000	平成17年12月8日		

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:北海道)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物産種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)		
							計画時(平成16年)	1年後(平成17年)	2年後(平成18年)	3年後(平成19年)	目標値(平成19年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他					
美瑛町	美瑛町農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増産物における産地構造改革の推進	輸入急増野菜(トマト)	輸入急増農産物における産地の奪回	【輸入急増野菜】(高付加価値化)出荷量の全量を高品質化	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	高品質化の取組割合が100%で維持された	共同育苗施設576㎡1棟	33,127,500	15,775,000			17,352,500	平成18年3月13日		
小清水町	小清水町農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増産物における産地構造改革の推進	輸入急増野菜(にんじん)	輸入急増農産物における産地の奪回	【輸入急増野菜】(契約取引の推進)にんじん出荷量の98%が契約取引	93.0%	97.8%	97.0%	93.6%	98.0%	12.0%	にんじん出荷量の93.6%を契約取引した。	・人参洗浄選別施設増設(109㎡/日) ・野菜洗浄施設増設(38㎡/30L/日) ・フックコル付きフーリグリス(荷役2.5t 1台)	408,901,500	193,700,000		100,000,000	115,201,500	平成18年3月22日	現在、契約取引を行っている全農では、生協関係など、量販店への販売も積極的に展開し、消費者への産地視察を積極的に実施するなど、特色のある産地育成を進めている。また、中央卸売市場での取引割合が増加したことにより、契約取引割合が減少し、目標達成には至っていないところがある。しかしながら、当該施設整備により、小清水町での人参作付面積が拡大し、既存の畑作三品に人参を含めた輪作体系が確立され、土壌害虫の抑制や地力増進に効果を上げており、関連作物の生産性向上に大きく寄与している。今後は、製品(人参)の品質向上や作付面積の拡大により、さらなるコスト低減を図り、契約取引割合の回復に向けて、地元関係機関と連携の上、改善に努めていきたい。		
平取町	平取町	産地競争力の強化	輸入急増産物における産地構造改革の推進	輸入急増野菜(トマト)	輸入急増農産物における産地の奪回	【輸入急増野菜】(高付加価値化)出荷量の30.2%を高品質化(糖度表示・包装形態の多様化)	0.0%	0.0%	11.5%	22.1%	30.2%	73.2%	出荷量の22.1%を高品質化	トマト選別施設、40t/日	602,857,500	301,428,000		301,429,500		平成18年3月31日	事業実施により、従来の4kg箱詰に加え、1〜2kgの小箱詰及びパック詰による出荷を行い、市場ニーズに幅広く応えることで、他産地との差別化を図った。その結果、トマト全体の出荷量は目標数量を上回ったものの、新たな出荷形態による出荷量は、出荷量全体の22.1%に止まり、目標達成には至らなかった。包装形態の多様化に対する市場ニーズは、年々増加しており、こうしたニーズに的確に対応していくことで産地競争力は一層高まることが期待できる。一方で、事業の実施により、地域の雇用増と作業労働者の超過労働時間の短縮も図られており、また、認定農業者については、計画年度末135戸から平成19年度末で191戸に増加し、農地の利用集積率は49.5%から79.0%に増加しており、大規模で効率的かつ安定的な農業経営が促進されている。【目標未達の要因分析】成果目標については、出荷量の30.2% (3,360t/11,130t)を高品質化(糖度表示及び包装形態の多様化(小箱詰・パック詰出荷))と設定し、内訳は、①新たな選別施設における包装形態の多様化(小箱詰・パック詰の出荷量):1,730t、②糖度表示:820t、③既存施設における包装形態の多様化(小箱詰・パック詰の出荷量):1,150tとした。①は2,055tの実績となり、目標に対し118.8%となった。②は150tの実績となり、目標の18.3%にとどまった。これは、平成19年の気象の影響により、昼夜の寒暖の差が少なく、糖度不足となったため高糖度トマトの生産量が少なくなったことによる。今後、気象が早年並みとなれば、糖度の上昇により高糖度出荷量が増加することが見込まれる。③は431tの実績となり、目標に対し37.5%にとどまった。既存施設での新たな出荷形態による出荷は、新規施設で対応しきれない分を対応するとしていたが、平成19年度においては、新たな出荷形態に対する市場ニーズが計画していたよりも少なかったため目標に至らなかった。しかし、ゴミを極力出さない商品提供や多様な出荷形態などの市場ニーズは、今後において年々増加することが見込まれるため、現段階では目標達成にいたっていないものの、トマト全体の出荷量については、目標を上回っているため、今後においては目標を達成できると想定している。		



事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名:北海道)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分(対象作物産種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)
							計画時(平成16年)	1年後(平成17年)	2年後(平成18年)	3年後(平成19年)	目標値(平成19年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他			
鹿追町	鹿追町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントラクター育成(飼料作物)	生産性向上	【多角的農作業コントラクター育成】(飼料作物)委託面積を10%増加	8,103.6ha	7,965.5ha	8,176.1ha	8,543.0ha	8,916.3ha	54.1%	受益面積が5.4%増加した	自走式スラリタンカー 堆肥運搬機	69,195,000	32,950,000			36,245,000	平成18年2月24日	スラリーは計画的に利用されているが、生産調整や飼料高騰による経済環境の悪化から、農家等においてコスト減のため作業委託を最小限に抑える傾向があり、委託面積を計画どおり増やすことができなかった。(牧草収穫計画時:4,397.6ha、目標:5,008.3ha、H19:4,429.9ha、スラリー散布計画時:559.4ha、目標:5.72ha、H19:450ha、堆肥散布計画時:1,944ha、目標:2,000ha、H19:1,769.9ha)一方、スラリー利用による飼料作物生産が本格的に始まり、減肥効果が期待されるほか、環境面においてもドリッパ方式による散布により悪臭の発生が最低限に抑えられている。21年度から肥料価格が大幅に上昇することから、スラリー散布による肥料コスト抑制に向けた取り組みがより一層要求されることから、今後は利用が増加すると予想している。	生産調整などにより計画通りの利用増とはならなかったが、今後も農作業効率の向上を図るべく、関係機関が連携しながら農作業受委託推進に対する取り組みの強化をしていく。とくに、濃厚飼料や資材価格が高騰する中、肥料コストの削減を図るため、計画的なスラリー利用を呼びかけるとともに、併せて導入機械の利用率向上を図るよう指導していきたい。
新得町	新得町農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントラクター育成(飼料作物)	生産性向上	【多角的農作業コントラクター育成】(飼料作物)受益面積の増加		(数値) 1,775.3ha (青刈りとともるこし) 488.1ha (堆肥散布) 152.2ha (合計) 2,415.6ha	(数値) 1,657.1ha (青刈りとともるこし) 505.0ha (堆肥散布) 694.5ha (合計) 2,826.6ha	(数値) 1,719.6ha (青刈りとともるこし) 583.9ha (堆肥散布) 1,717.7ha (合計) 4,021.1ha	(数値) 1,441.9ha (青刈りとともるこし) 430.3ha (堆肥散布) 1,699.6ha (合計) 3,561.8ha	112.9%	受益面積が4,021.1haとなった	マニユアスプレッシャー スクアベンジャー 堆肥運搬機(タイヤシヨベル)	44,982,000	21,420,000			23,562,000	平成17年11月21日		
更別村	有限会社アリアポートさべつ	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントラクター育成(飼料作物)	生産性向上	【多角的農作業コントラクター育成】(飼料作物)受益面積の増加		(数値) 390.0ha (青刈りとともるこし) 145.0ha (合計) 535.0ha	(数値) 442.0ha (青刈りとともるこし) 155.0ha (合計) 597.0ha	(数値) 453.5ha (青刈りとともるこし) 195.0ha (合計) 648.5ha	(数値) 341.0ha (青刈りとともるこし) 132.0ha (合計) 473.0ha	137.1%	受益面積が648.5haとなった	自走式フェリジハベータ メイズアタッチメント モアコンディショナー 飼料積込用機	45,360,000	15,120,000			30,240,000	平成17年11月9日		
愛別町	スリーエー生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントラクター育成(飼料作物)	生産性向上	【多角的農作業コントラクター育成】(飼料作物)作付面積を56.3%増加	44.4ha	56.7ha	89.0ha	89.5ha	69.4ha	180.4%	飼料作物作付面積が101.6%増加した	不耕起種播機1台 細断式ロールペーラー1台 自走式ラッピングマシン1台	9,054,444	3,495,000			5,559,444	平成18年3月31日		
新十津川町(学園)	新十津川町	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】飼料基盤(公共牧場)を1%以上増加	69頭	0頭	0頭	64頭	99頭	-16.7%	飼養頭数が7.2%減少した	基地整備改良 野草地整備 障害物整備	14,688,984	7,334,000		7,354,984	平成18年1月23日	目標年度における公共牧場の飼養頭数は、計画時から30頭増し99頭と計画していたが、次の利用により計画どおり増殖することができず、目標を達成することができなかった。(1)平成16年度時点において、子牛価格が上昇していたことから、繁殖雌牛の増頭を見込んでいたが、町内において産育牛は増頭したものの、繁殖雌牛を所有している畜産農家の離農により、農家戸数17戸から14戸に減少し、それに伴い、繁殖雌牛も159頭から148頭に減少した。(2)平成14年に旧町営牧場に放牧されていた牛が法定伝染病(ヨーネ病)に感染し、3頭が殺処分となったことや、平成19年度に年間約10頭前後を公共牧場に入牧している畜産農家において、ヨーネ病が発生し、4頭が殺処分となったこと等から、一部の農家において畜産農家の衛生管理に対する不備感があり、公共牧場の利用増加につながらなかった。このような状況を踏まえ、目標の達成に向け、次の事項を実施し、公共牧場の経営健全化を目指す。(1)公共牧場の衛生管理の徹底①入牧牛の消毒②放牧者等関係者以外の牧場への出入り制限③空家畜保健康生所の消毒を呼びかけながら定期的な衛生管理の徹底(2)利用頭数増に向けた取り組み①管内における放牧対象頭数の確認②放牧未実施の掘り起こし③初妊牛となる育成牛の放牧促進	平成19年度に町内の畜産農家において家畜法定伝染病(ヨーネ病)の発生があり、感染拡大の恐れから発生農家の保有する全ての肉用牛の放牧を3年間見合わせたため、公共牧場における放牧利用頭数が目標を下回った。ヨーネ病は発症しないで経過することもあるなど感染原因の解明が困難であることから、当該牧場等が発生要因と特定することができないものの、法定伝染病の発生予防の観点から、放牧を見合わせたことはやむを得ないものとする。現在、放牧牛のヨーネ病発生防止が最優先課題であり、衛生管理体制の再構築を進めているところである。また、地区内の肉用牛の飼養頭数は増加しており、放牧対象牛も一定程度確保されている。今後、地区内肉用牛飼養農家及び公共牧場の衛生管理の徹底を図るとともに、放牧利用頭数の目標達成に向けて、町内及び近隣市町村の飼養農家委託牛の確保・増加に努めていることとしており、目標達成は可能と考える。	
美瑛町(16美瑛)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された	基地整備改良 33.27ha	15,527,000	7,763,000			7,764,000	平成18年3月5日		
和歌町(16和歌)	(財)北海道農業開発公社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組む農業者の割合が100%で維持された	基地整備改良 11.87ha	7,421,000	3,710,000			3,711,000	平成18年3月13日		

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

※については目標未達成事業についてのみ記載した。

(都道府県名:北海道)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分 (対象作物 畜種等名)	政策目標	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価(※)	都道府県の評価(※)	
							計画時 (平成16年)	1年後 (平成17年)	2年後 (平成18年)	3年後 (平成19年)	目標値 (平成19年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
猿払村 (16浅茅野)	東宗谷 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】飼料頭数を1%以上増加	800頭	1,112頭	1,151頭	1,164頭	1,038頭	152.9%	飼養頭数が45.5%増加した	草地整備改良 家畜排泄物処理施設整備 (飼帯スリータンク) 飼料調製貯蔵施設整備 (飼料調製庫) (バンカーサイロ) (格納庫) (車輻消毒施設)	184,682,380	87,945,000				96,737,380	平成18年1月7日		
斜里町 (16斜里)	斜里町 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	草地造成 (0.69ha) 草地整備 (17.2ha)	9,707,280	4,592,000				5,115,280	平成17年11月28日		
新冠町 (17新冠高江)	新冠町 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】飼料自給率を5.3%増加	46.62%	45.96%	47.50%	49.14%	49.10%	101.6%	飼料自給率が5.4%増加した。	草地整備改良 障害物整備	13,292,480	6,330,000				6,962,480	平成17年11月25日		
陸別町 (16陸別斗満)	陸別町 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	草地整備改良	20,831,443	9,918,000				10,913,443	平成17年11月22日		
陸別町 (17陸別)	陸別町 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	草地整備改良	57,119,537	27,200,000				29,919,537	平成17年11月22日		
士幌町 (16士幌)	士幌町 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	草地整備改良 106.67ha	23,713,593	11,292,000				12,421,593	平成17年11月14日		
本別町 (16本別)	(財)北海 道農業 開発公 社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	草地整備改良 13.25ha 飼料畑整備 0.85ha 暗渠排水 0.80ha	6,327,000	3,163,000				3,164,000	平成18年3月1日		
豊頃町 (16長節)	豊頃町 農業協 同組合	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	草地造成改良 草地整備改良 家畜保護施設整備(育成舎) 飼料調製貯蔵施設整備 (バンカーサイロ) 衛生管理施設整備	137,126,994	65,298,000				71,828,994	平成17年11月15日		
中標津町 (協和)	(財)北海 道農業 開発公 社	産地競争力の強化	飼料基盤活用の促進	飼料基盤活用の促進(飼料作物・乳牛)	生産性向上	【飼料基盤活用の促進】良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%	100%	100%	100%	100%	100%	100.0%	良質なたい肥の農地還元に取り組み農業者の割合が100%で維持された	家畜保護施設整備 1棟 162m2	75,066,000	37,533,000				37,533,000	平成18年3月31日		